



香川県立中央病院広報誌「れんけい」第71号 発行者／香川県立中央病院 太田 吉夫 編集／広報委員会
〒760-8557 高松市朝日町一丁目2番1号 TEL.087-811-3333 FAX.087-802-1160

2017年4月より、JCOG胃がんグループ参加施設に承認!!

消化器・一般外科
部長 田中 則光

香川県立中央病院 消化器グループ（消化器外科、腫瘍内科）は、2017年4月より、日本臨床腫瘍研究グループ（Japan Clinical Oncology Group: JCOG）の胃がんグループ参加施設として新たに承認されました。JCOGとは、がんの治癒率向上と質の向上を目指した多施設共同研究グループで、それぞれの患者さんに応じた標準治療（科学的根拠に基づいて第一に推奨される最善の治療）の確立を目指し、臓器ごと（胃がん、大腸がん、肺がんなど）にグループが立ち上がっております。この

JCOG胃がんグループ参加施設になったことにより、香川県立中央病院では科学的根拠に基づいた最新・最善の治療を、より早く患者さんに提供できるようになりました。中四国地域では、現在のところ当院を含めて9施設のみが参加施設として認められております。

近年日本の胃がん罹患数は減少傾向にあるといわれておりますが、胃がんの罹患数・死亡数は、大腸がん、肺がんについて第3位といまだに順位が高いのが現状です。今後は、それぞれの患者さんの進行度や状態に応じた、きめ細かい治療を開発していくことが胃がん成績の向上につながっていくと考えられております。JCOG胃がんグループでは、胃がんにおける外科手術（腹腔鏡手術や縮小・拡大手術）の開発、手術と抗がん剤治療を組み合わせた集学的治療（術前化学療法や術後の適正抗がん剤の選択）の

開発、高齢者患者さんに対する適正治療の開発など、胃がんに絞った「より優れた治療法」を考案し、科学的かつ倫理的に評価していくことを使命とし、複数の多施設共同臨床試験を行っており、当院も参加しております。

香川県における胃がん患者さんに対し、各進行度に応じた最新かつ最善の胃がん治療をより高いレベルで迅速に提供できるようにスタッフ一同取り組んでいく所存であります。胃がん治療についてのご相談がありましたら、いつでもご紹介ください。





ICUは呼吸、循環、代謝、脳神経系などの重篤な臓器不全に対して、強力かつ集中的な治療とケアを行うところです。24時間麻酔科医が常駐し、多種の先端医療機器の活用のもと、集中的かつ高密度に医療や看護を提供しています。できるだけ早期に回復できるように医師、看護師をはじめとする多職種によるチーム医療が行われています。麻酔科医11名、看護師31名、看護補助者1名で日々奮闘しています。ICU看護師の中には、重症集中ケア認定看護師と皮膚排泄ケア認定看護師の2名がいます。ICU勤務をし

ながら外来の患者さんを診たり、院内からの要望があればそれに対応します。

ICUは集中的に治療を行うため面会時間の制限があります。そのため患者さんだけでなく、家族の方への配慮もできるよう心配りに努めています。重症だった患者さんが回復され、退院する際にICUに顔を見せてくれることがあります。患者さんが頑張りました、家族の方も頑張りました、医療チームも頑張ったと強く思う瞬間です。4月は転入者、新任者も加わりメンバーも変化しました。日々学習を重ね、よりよい治療や看護を実践していくことを心がけています。

当院手術室は、ハイブリッドルーム・クリーンルームを含め12室あり、一日20件以上の手術が行われています。患者さんを中心に、外科医・麻酔科医・臨床工学技士・放射線技師など、医療に従事する多種多様なスタッフが一つのチームとなり、互いに連携しながら目的と情報を共有し、患者さんの状況に素早く対応した医療を提供しています。

手術看護認定看護師の役割は、患者さんが安心して、安全に手術を受けることができるよう専門的なケアを提供することです。麻酔・手術という人生の危機に一人で臨み、自らの意思を表現できない状況にある患者さんを守ります。

また、手術中は手術チーム全体の調和を図り、チームメンバーがそれぞれの役割を十分に果たし、スムーズに手術が進むようチームの調整役として動きます。特に、患者さんの急変や術式変更などの場合は、速やかに状況判断を行い、医療チームの連絡調整など、率先してリーダーシップを発揮します。

そして、スタッフの実践モデルとなるよう日々自己研鑽に励むと共に、患者さんにより質の高い看護を提供するため、スタッフへの勉強会を実施し、手術看護のレベルアップを図っています。

患者さんやその家族に一番近い存在であり、患者さんの不安を少しでも軽減でき、手術に臨んでいただけの今後ともサポートしていきます。



感染症病棟が完成しました

感染管理認定看護師
村井 由佳

香川県立中央病院感染症病棟は、平成11年に施行された「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」(感染症法)に基づく感染症医療機関として設置計画・建設され、平成29年3月香川県知事からの指定を受け、第1種感染症指定医療機関として、運用を開始いたしました。

第1種感染症指定医療機関は主に、感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点から見た危険性が極めて高いとされる一類感染症(エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱)の患者さん、もしくは疑いのある患者さんの入院を担当します。また、これと併せて二類感染症、新型インフルエンザ等感染症の患者さんの入院も担当します。



病棟外観

病棟は、既存の本院西側に別棟として建てられ、本院との距離を設けることで感染拡大を防ぐことができます。また、病室においては、汚染空気の流出防止のため、単独の換気設備や特殊なフィルターが設置されています。その他、排水処理設備、滅菌設備も整えられています。

今後、院内での職員訓練や香川県、保健所、検疫所等との合同訓練等を通して、感染症患者に対する患者の人権・生活の質に配慮した、感染症診療・ケアが提供でき、安心・安全な医療を提供していきたいと思っています。



病棟入口



病室



滅菌装置



病室圧(陰圧)を示す表示

ボランティア交流集会を開きました

総務企画課

3月27日(月)に当院で活動いただいているボランティアさんに集まっていただき「ボランティア交流集会」を開催いたしました。

普段なかなか顔を合わせることが少ないボランティアさん同士や院長、看護部長、事務局長などが一堂に会して、ボランティア活動や病院について忌憚ない意見を交換することができました。会では28年度のボランティア活動を振り返るスライドを見たり、リハビリテーション部から技師長を講師に招き、口コモ体操を行ったり、有意義な時間を過ごすことができました。お昼時にはボランティアさん同士の昼食会も行い、ボランティアさん同士でいろいろな会話を楽しむことができました。



放射線のはなし～より良い画像提供を心掛けています～

放射線部
副技師長 中元 仁

放射線検査はX線撮影、CT、MRI、血管造影、RI、治療など様々あります。

CTは64列2台と256列1台で、ダイナミック撮影、3D血管撮影、心臓冠動脈撮影などをしています。造影剤を使った検査が多いので準備、画像処理に時間がかかります。

MRIでは3T(テスラ)1台と1.5T(テスラ)1台で全身のいろいろな部位の撮影を行っていますが、より多くの画像情報を求められることが多く、2台では処理できないほどの撮影依頼があります。従ってCT、MRIでは待ち時間が長くなっています。

血管造影検査では、シングルプレーン1台とバイプレーン2台で脳、腹部、心臓血管などの撮影を行っています。脳動脈瘤のコイル塞栓や心臓カテーテルアブレーションも行っています。また、手術室にハイブリッドシステムを導入し、手術中に血管造影や3D撮影が出来るようになり、TAVI(経カテーテル的大動脈弁置換術)などが行われています。

RI検査ではPET-CT、SPECT-CTが行われています。

治療部門では、最近IMRT(強度変調放射線治療)やTBI(全身照射)が行われています。

このように様々な検査に対応するために、勉強会や各グループでミーティングを行い、情報の共有をしています。また、マンモグラフィ撮影認定技師、医学物理士、放射線治療専門技師、第1種放射線取扱主任者、胃がん検診専門技師、第1種衛生管理者、臨床実習指導教員などの認定、資格を受けております。これからもより良い画像の提供を心掛けています。



外来アシスタントさんの仕事紹介

外来Bブロック
山地 美月



私たちアシスタントは、外来医療チームの一員として安全で質の高い看護を提供し、診察がスムーズに進行できるよう関連部署との調整や、医師および看護師との支援調整を図り、患者さんの状況に適した対応ができるよう心がけ仕事に取り組んでいます。

私の所属する外来では、月に一度のアシスタント会で、勉強会や意見交換をしています。過去の勉強会では、在宅酸素の取り扱い方、災害研修、輸液ポンプ・シリンジポンプ・動作インジケータ・酸素ボンベ確認方法を教えていただき、アシスタントでも出来ることを身につけるようにしています。

また、毎年必ず院内感染対策「標準予防策・環境整備・インフルエンザ対策」について講義を受け感染への意識を高めています。

これからも、患者さんの視点に立って行動し、思いやりの心、その心をあらわす挨拶や声かけを日々積み重ね、一人一人が医療に携わることへの意味を理解し、よりよい医療を目指して頑張っていこうと思います。

医療セミナーを開催します

- 日 時：平成29年6月29日(木) 19時00分～
- 場 所：香川県立中央病院1階講堂
- テー マ：「多発性骨髄腫の治療 up-to-date」
- 講 師：当院院長補佐・血液内科診療科長 川上公宏 血液内科部長 西内崇将

医師の人事異動

4月1日付
転入



西川 大祐(泌尿器科)

- ①鳥取大学
②平成24年
③旅行
④一生懸命がんばりますので、どうぞよろしくお願ひします。



須藤 雄也(循環器内科)

- ①自治医科大学
②平成24年
③買い物
④まだまだ未熟ですが、香川の医療に貢献できる様、精一杯がんばります。よろしくお願ひ致します。



増井 正典(歯科・口腔外科)

- ①岡山大学
②平成24年
③卓球、旅行
④香川県の口腔顎面分野の地域医療に貢献できる様頑張ります。宜しくお願ひ致します。



多屋 慧(循環器内科)

- ①岡山大学
②平成25年
③くちぶえ
④早く慣れます。



岩本 勇樹(整形外科)

- ①自治医科大学
②平成20年
③サイクリング
④精一杯頑張りますのでよろしくお願ひいたします。



林田 智博(心臓血管外科)

- ①山梨大学
②平成22年
③旅行、食めぐり
④科全体として地域の心血管疾患に対し、循環器内科と共に戦略を立て、対応していくこうと思います。宜しくお願ひ致します。



久住 研人(放射線科)

- ①北海道大学
②平成25年
③ランニング
④皆様のお役に立てるよう頑張りたいと思います。よろしくお願ひ致します。



濱田 龍正(形成外科)

- ①高知大学
②平成25年
③料理、酒、音楽
④一症例ごとに勉強の機会を逃さぬよう精進したいと思います。よろしくお願ひします。



松田 直樹(消化器・一般外科)

- ①岡山大学
②平成25年
③ゴルフ
④少しでも地域医療に貢献できるようがんばります。よろしくお願ひします。



坂本 あすな(消化器・一般外科)

- ①香川大学
②平成27年
③散歩
④少しでも患者さんの力になれるよう努めてまいります。よろしくお願ひいたします。



植月 元一(小児科)

- ①香川大学
②平成26年
③ベース
④香川の子どもたちの為に良い医療が出来ればと思います。よろしくお願ひします。



茂原 研司(小児科)

- ①川崎医科大学
②平成25年
③ドライブ、旅行
④香川県での勤務は初めてですが、地域の子供さんのために精一杯頑張ります。よろしくお願ひ致します。



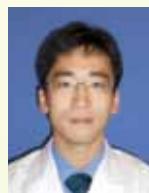
青山 祐樹(消化器内科)

- ①岡山大学
②平成25年
③ドライブ、旅行
④地域の方々に貢献できるよう頑張ってまいります。よろしくお願ひします。



川名 伸一(呼吸器外科)

- ①山梨大学
②平成27年
③野球
④写真の目つきは悪いですが、笑顔で頑張ります。よろしくお願ひいたします。



近藤 治朗(腎臓・膠原病内科)

- ①岡山大学
②平成27年
③これといって特に・・・
④腎臓を患う人が少なくなりますように・・・。

①出身大学 ②卒業年 ③趣味 ④抱負



佐野 雄芳(泌尿器科)

①徳島大学
②平成27年
③野球観戦
④分からぬことばかりですが頑張りますのでよろしくお願ひ致します。



今瀧 梨乃(研修医)

①香川大学
②平成29年
③映画鑑賞
④日々こつこつ努力していくとい思います。ご指導よろしくお願ひいたします。



小川 達也(研修医)

①香川大学
②平成29年
③テニス
④日々努力し立派な医師となれるよう頑張ります。よろしくお願ひいたします。



川名 康仁(研修医)

①香川大学
②平成29年
③ダンス、サーフィン、スキー
④一歩一歩着実にそして一日も早く医師としての礎を身につけてたいと思います。ご指導よろしくお願ひ致します。



西尾 綾乃(研修医)

①香川大学
②平成29年
③旅行
④日々努力して早く一人前になれるように頑張りたいと思います。これからよろしくお願ひ致します。



藤本 沙里(研修医)

①岡山大学
②平成29年
③音楽、読書
④日々成長していけるよう、前向きな気持ちを忘れずに頑張ります。よろしくお願ひいたします。



平野 佑一(研修医)

①香川大学
②平成29年
③テニス
④一日一日を大切にし、少しでも早く一人前になれるように頑張ります。ご指導よろしくお願ひします。



堀川 恭佑(研修医)

①岡山大学
②平成29年
③卓球、ランニング
④一生懸命勉強してできることを増やしていきたいと思います。よろしくお願ひします。



山下 光(研修医)

①香川大学
②平成29年
③バイク、車
④至らぬことが多いかと思いまが、ご指導の程よろしくお願ひ致します。



山本 まり恵(研修医)

①香川大学
②平成29年
③バドミントン、ダイビング
④常に前向きでがんばります。ご指導よろしくお願ひします。



大川 純平(研修医)

①自治医科大学
②平成29年
③水泳
④社会人として、医師として少しでも早く一人前になれるように日々努力していきたいと思います。



谷口 統(研修医)

①自治医科大学
②平成29年
③音楽
④早く一人前の医師になれるよう頑張りますので、ご指導よろしくお願ひします。

4月30日付
転出

●泉 貞言(消化器・一般外科)

地域連携室より

当院では、事前のFAX予約を推進しています。初診の患者さんは、病院さまからの申し込みで、外来予約をお取りできます。予約をしていただくことで待ち時間の短縮や、前もって準備ができる等、診療がスムーズに進むメリットがあります。ご協力をお願いします。

また、地域連携室では、紹介状専用封筒をご用意しておりますので、ご連絡をいただければ、郵送させていただきます。紹介状については、特に指定の様式はありませんので、各病院さまのものでお願いします。